

(問題 1 の続き)

問 2 次の文章を読んで、設問 (1) ~ (6) に答えよ。

古生代後半、ローレンシア大陸と Gondwana 大陸が衝突して超大陸パンゲアを形成した。アパラチア造山帯はその衝突境界に位置しており、6000 km 以上におよぶ大山脈を形成していた。アメリカ南東部では衝突した地質構造が残っており、衝突帯の地質断面図が復元されている (図 1)。

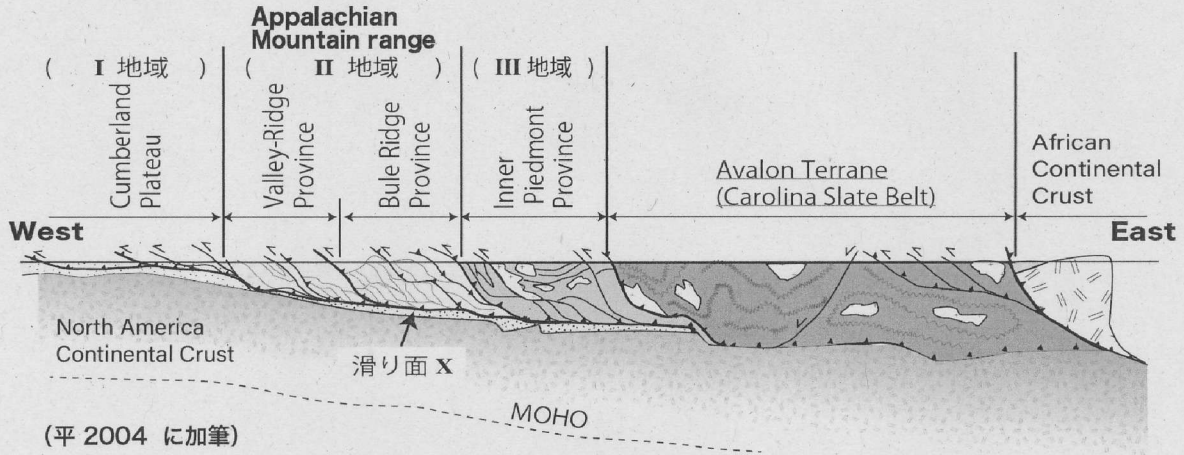


図 1 アパラチア造山帯南部の東西地質断面図

- (1) I 地域では、造山帯から土砂が供給されて堆積盆を作っている。この堆積盆には見られない地層を、下記の語群より全て選択せよ。
礫岩層、三日月湖堆積物、赤色砂岩、石炭層、放散虫層状チャート、蒸発岩、河川堆積物、扇状地堆積物、氾濫原堆積物、サンゴ礁
- (2) 衝突帯に一般的に見られる II 地域のような逆断層や褶曲が繰り返す地質帯の一般的な名称を述べよ。
- (3) II 地域には、東方向に傾斜した逆断層が発達する。本地域の逆断層面上に多数残されるスリッケンラインを示すステレオ投影図として最も適当なものを図 2 の A ~ E から選択せよ。

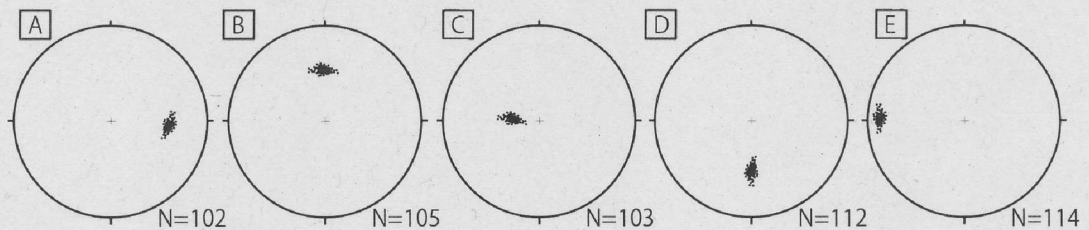


図 2 断層面上にみられるスリッケンラインのステレオ投影図(下半球投影)

(次ページに続く)